

'99 / 年報

平成 11 年度

No. 7

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

はじめに

わたしどもの「山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館」も開館以来7年が経過いたしました。秋季に開催している第8回企画展「やまがたの古墳とその時代」をはじめ、各種の体験教室、考古学セミナー、遺跡めぐり、うきたむ縄文まつりなど、資料館周辺のまほろば古の里歴史公園の整備・充実とあいまって地域の方々はもとより、県外よりも多くの参加をえて、好評のうちに終了することができました。多くの方々のあたたかい励ましやご支援、ご指導に厚く御礼申し上げます。

今後とも関係各位の協力関係を一層緊密にして創造的でユニークな考古資料館の運営につとめていく所存であります。

本冊子に1999年度の事業を総括いたしましたので、ご一読の上、ご助言たまわらば幸いに存じます。

来るべき2000年度に向かって地域に開かれた学習の場として学校教育や生涯学習に寄与するとともに、東北の縄文文化発信の役割を担って行くために努力していきたいと思っております。

2000年3月

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

館長 川崎利夫

目 次

1. 施設の概要	1
2. 開館後のあゆみ	3
3. 展示の概要	
(1)常設展示及びテーマ展示	6
(2)第8回企画展	7
4. 教育普及活動	8
(1)公開講演会	
(2)体験教室	
(3)遺跡研修	
(4)うきたむ縄文まつり	
(5)第一期「考古学セミナー」	
(6)その他の教育普及活動・共催事業	
(7)「うきたむ考古の会」の事業	
5. 資料の活用	12
・印刷物等掲載の状況	
・資料貸出の状況	
・刊行物一覧	
6. 入館状況	13
(1)月別入館者一覧表	
(2)主な入館団体一覧	
(3)来観者アンケート	
7. 管理及び運営	18
(1)組織・職員	
(2)運営協議会	
8. まほろば古の里歴史公園	20
9. 受贈資料・図書	22
10. 日誌抄	27
11. 利用案内	28

1. 施設概要

(1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

(2) 沿革

昭和51年度	第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和56年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和58年度	風土記の丘基本計画懇談会において、基本計画等について検討
昭和59年度	風土記の丘建設構想推進委員会において、中核地区の選定等について検討
昭和60年度	第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和61年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
昭和62～63年度	中核施設となる考古資料館の展示構想をたてるため、考古資料基礎調査を実施
平成元年度	風土記の丘基本計画作成検討委員会を設置し、基本計画を作成
平成2年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成3年度	高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成4年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成5年度	考古資料館開館 4月23日

(3) 施設

①構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建 敷地面積：7,000㎡ 延床面積：1,358.24㎡.

常設展示室	279.00㎡	作業室	33.75㎡
企画展示室	129.37㎡	荷解室	18.00㎡
収蔵庫(2層)	129.37㎡	ロビー・ホール	336.85㎡
研修室	67.50㎡	ビデオコーナー	33.25㎡
資料室	58.20㎡	風除室	19.25㎡
事務室	67.50㎡	その他(機械室等)	186.20㎡

(4) 建設費

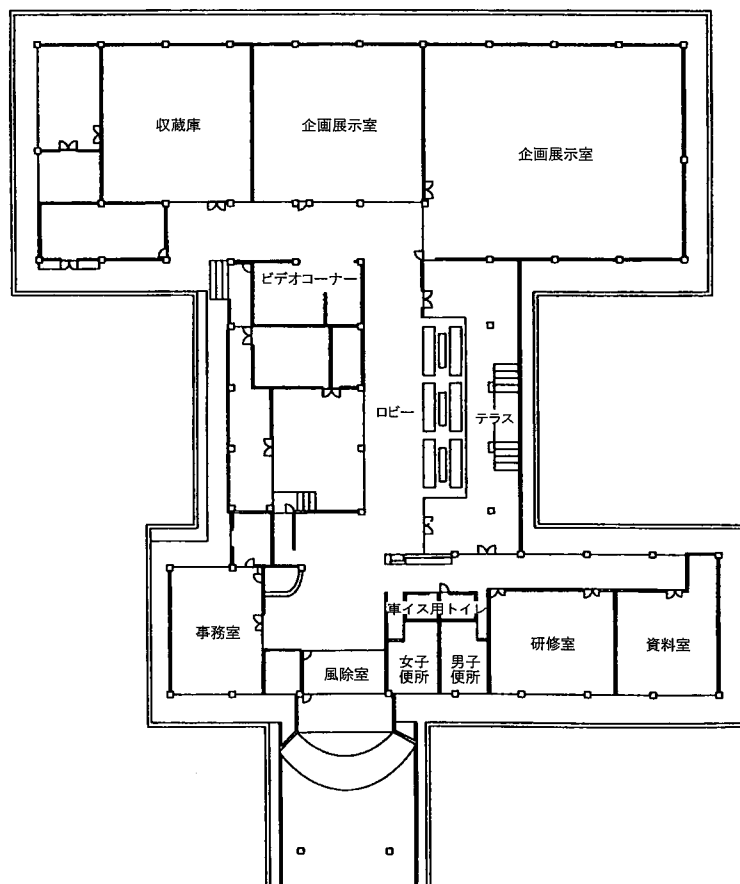
総額 618 百万円

(内訳) 建物本体工事費	413 百万円
展示工事費	118 〃
外構整備費	38 〃
備品購入費	9 〃
調査、設計監理委託料	37 〃
事務費	3 〃

(5) 工事業者

建築設計	株式会社平吹武建築設計事務所
建築施工	株式会社中村建設
設備施工	協栄設備工業株式会社
電気施工	千代田電工株式会社
植栽施工	今井造園株式会社
展示設計施工	株式会社丹青社

[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]



2. 開館後のあゆみ

平成5年度 開館記念行事（4月20日）
開館記念講演「考古資料館に期待すること」（4月20日）
文化庁文化財監査官 田中 琢氏
第1回特別展「縄文の四季」（4月23日～8月22日）
シンポジウム「祈りとたたかいの中世」開催（7月10日）
第1回収蔵品展「押出遺跡とその周辺」（9月1日～26日）
縄文土器づくり教室（9月12日・10月3日）
縄文月見の宴（9月30日）
第1回企画展「古墳と人々の暮らし」（10月1日～11月30日）
特別講演会「末期古墳がつくられたころ」
福島大学教授 工藤 雅樹氏（10月9日）
第2回収蔵品展「最近発掘された置賜の遺跡から」（12月7日～4月26日）
平成5年度入館者 15,379名

平成6年度 第2回企画展「一ノ坂遺跡と巨大住居」（5月1日～7月30日）
縄文土器づくり教室（7月3日・7月31日）
特別講演会「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」
秋田県埋蔵文化財センター所長 富樫 泰時氏
第3回収蔵品展「平地と山地の縄文遺跡」（8月4日～9月25日）
第1期やさしい考古学入門講座
1回「考古学とは」 県立考古資料館長 川崎 利夫氏
2回「旧石器時代と生活」 財県埋文センター研究課長 佐々木洋治氏
3回「縄文時代の人々と文化」 日本考古学協会会員 佐藤 鎮雄氏
4回「縄文時代のムラと生活」 財県埋文センター研究調査員 佐藤 庄一氏
5回 体験実習（縄文琴の作り） 米沢市教育委員会 手塚 孝氏
6回「弥生時代の生活と社会」 財県埋文センター研究調査員 佐藤 庄一氏
7回「古墳とその時代」 県立考古資料館長 川崎 利夫氏
8回 体験学習（秋の縄文料理） 米沢市教育委員会 手塚 孝氏
9回「考古学が語る蝦夷の時代」 日本考古学協会会員 佐藤 鎮雄氏
10回「一つの経筒から中世が広がって見える」
高島町郷土資料館長 山崎 正氏
縄文月見の宴（9月20日）
第3回企画展「発掘された中世—まじないと祈りの世界—」
（10月1日～11月30日）
特別講演会「中尊寺金色堂の視線」（10月15日）
東北大学教授 入間田 宣夫氏
第4回収蔵品展「古代の村と暮らし」（12月6日～4月23日）
縄文手作り教室（勾玉・けつ状耳飾り）（3月11日）
平成6年度入館者 7,696名

平成7年度 開館3周年記念特別展「よみがえる縄文文化」（4月27日～7月30日）
特別講演会「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」（6月10日）
青森県教育庁文化課三内丸山対策室 岡田 康博氏
縄文住居作り教室（住居・勾玉・投げやり）（6月18日）
土器作り教室（7月8日・8月6日）
第5回収蔵品展「高島の古墳時代」（8月4日～9月27日）
第2期やさしい考古学入門講座「日本のやきものの流れ」
1回「日本のやきものの流れ」 県立考古資料館長 川崎 利夫氏
2回「縄文草創期・早期」 財県埋文センター研究課長 佐々木洋治氏

- | | | |
|-----------------|----------------|--------|
| 3回「縄文前期・中期」 | 財県埋文センター研究調査員 | 阿部 明彦氏 |
| 4回「縄文後期・晩期」 | 日本考古学協会会員 | 佐藤 鎮雄氏 |
| 5回「弥生土器」 | 財県埋文センター第二調査課長 | 佐藤 庄一氏 |
| 6回 実習(味噌根窯跡の発掘) | 米沢市教文化財主任 | 手塚 孝氏 |
| 7回「古墳時代の土器」 | 県文化財課文化財係長 | 長橋 至氏 |
| 8回「古代の土器」 | 財県埋文センター研究調査員 | 尾形 與典氏 |
| 9回「中世の焼き物」 | 県立考古資料館長 | 川崎 利夫氏 |
| 10回「近世山形のやきもの」 | 山形民芸協会理事長 | 板垣 英夫氏 |

うきたむ考古の会設立(9月2日) 39名

縄文月見の宴(共催)会場 山形市霞城公園(9月9日)

第4回企画展「やまがた古代の役所」(10月1日～11月30日)

味噌根窯跡の発掘調査(10月22日～12月上旬)

特別講演会「古代出羽の役所」

酒田市教育委員会生涯学習課長 小野 忍氏

東北中世考古学会 設立総会(11月25日)

第6回収蔵品展「置賜のやきものの移りかわり」(12月6日～4月21日)

縄文住居の模型作り教室(2月25日)

平成7年度入館者 7,957名

平成8年度 第5回企画展「古代の窯業遺跡」(4月27日～7月31日)

風土記の丘写生大会(5月4・5日)

春の遺跡巡り(川西町方面)(5月12日)

青森三内丸山遺跡見学研修旅行(考古の会)(6月1～2日)

特別講演会「古代の窯業遺跡」(6月8日)

国立歴史民俗博物館教授 吉岡 康鴨氏

縄文土面・土笛作り教室(6月16日・7月21日)

第3期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るI」

1回「旧石器時代の遺跡を掘る」県文化財課文化財主査 渋谷 孝雄氏

2回「縄文草創期の洞窟遺跡を掘る」財県埋文センター研究課長 佐々木洋治氏

3回「縄文時代の大集落を掘る」財県埋文センター研究調査員 阿部 明彦氏

4回「弥生時代の遺跡を掘る」財県埋文センター第二調査課長 佐藤 庄一氏

5回実習・遺跡発掘現場(米沢)米沢市教文化財主任 手塚 孝氏

6回「古墳を掘る1」高島町文化財係長 井田 秀和氏

7回「古墳を掘る2」県文化財課文化財係長 長橋 至氏

8回「古代の窯跡を掘る」県文化財課文化財主査 名和 達朗氏

9回「古代のムラを掘る」財県埋文センター研究調査員 阿部 明彦氏

10回「戦国時代の城跡を掘る」鶴岡市教委社会教育課文化財係主事 真壁 建氏

土器作り教室(7月14日・8月31日)

第7回収蔵品展「縄文の四季」(8月6日～9月25日)

夏休み自由研究相談(8月8～9日)

夏休み親子遺跡探検(8月4日)

東北中世考古学会(8月24～25日)

第3回特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」(10月1日～11月30日)

味噌根窯跡発掘と芋煮会(10月5日)

特別講演会「縄文文化と現代」(10月10日)

国立歴史民俗博物館副館長 佐原 眞氏

縄文月見の宴(10月20日)

秋の遺跡巡り(南陽市方面)(11月17日)

第8回収蔵品展「土器のうつりかわり」(12月5日～4月23日)

古代の編み物作り教室(2月22～23日)

平成8年度入館者 8,242名

平成9年度 第6回企画展「縄文の花開いて～一ノ坂・台ノ上遺跡～」
 (10月1日～11月30日)
 テーマ展「考古資料からみた古代・中世」(企画展期間を除く)
 風土記の丘写生大会(5月5日)
 春の遺跡巡り(米沢市方面)(5月18日)
 みる・きく・ふれる遺跡の旅「黄金の都藤原文化のふるさとを訪ねる」
 (6月21日～22日)
 特別講演会「古代出羽の都」(6月1日)
 酒田市中心高校教諭 佐藤 禎宏氏
 特別講演会「縄文文化の魅力」(10月26日)
 國學院大学教授 小林 達雄氏
 縄文の土偶づくり教室(6月14日・7月12日)
 縄文土器づくり教室(9月14日・10月19日)
 第4期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅡ」
 1回「最古の石器をもとめて」東北福祉大学教授 梶原 洋氏
 2回「大型住居跡を掘る」米沢市教文化財主任 手塚 孝氏
 3回「山形県における横穴式古墳」県立考古資料館長 川崎 利夫氏
 文化財係長 井田 秀和氏
 4回「国府とその周辺を掘る」酒田市中心高校教諭 佐藤 禎宏氏
 5回「中世の遺物から中世社会を考える」天童市立天童中部小学校教諭 山口 博之氏
 夏休み親子遺跡探検(8月4日)
 夏休み自由研究相談(8月6・7日)
 少年少女考古学教室(4月25日・5月7日・10月24日)
 まほろば縄文祭り(10月26日)
 秋の遺跡巡り(高島町和田地区)(11月9日)
 古代の編み物作り教室(2月14日)
 平成9年度入館者 6,906名

平成10年度 第7回企画展「やまがたの弥生文化ー水田稲作の始まりー」
 (10月1日～11月30日)
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 風土記の丘写生大会(5月5日)
 春の遺跡巡り(上山市方面)5月17日
 縄文の土偶づくり教室(5月9日・5月23日)
 土器づくり教室(6月14日・7月5日)
 みる・きく・ふれる遺跡の旅「文明のクロスワード会津盆地を訪ねる」
 (6月27～28日)
 考古学入門講座「中世の考古学」(6月21日～8月23日の5回)
 1回「奥羽の中世世界」山形大学助教授 伊藤 清郎氏
 2回「東北の中世土器・陶磁器」福島県文化課文化財主査 飯村 均氏
 3回「中世の墓と経塚」天童中部小学校教諭 山口 博之氏
 4回「中世の石造文化財、その見方・調べ方」館長 川崎 利夫氏
 5回「山形県の城館跡」岩手県立大学助教授 菅田 慶信氏
 縄文の釣り針づくり教室(8月2日)
 縄文の祭り具づくり教室(8月8日)
 うきたむ縄文まつり(9月6日)
 (洞窟探検・縄文体験コーナー・縄文料理の試食・月見の宴)
 特別公開講演会「東北の弥生文化ーその成立と展開ー」(10月4日)
 東北大学教授 須藤 隆氏
 秋の遺跡巡り(飯豊・小国町方面)(10月18日)
 勾玉づくり教室(11月14日)
 編み布づくり教室(2月21日)
 平成10年度入館者 12,499名

3. 展示の概要

(1) 常設展示及びテーマ展

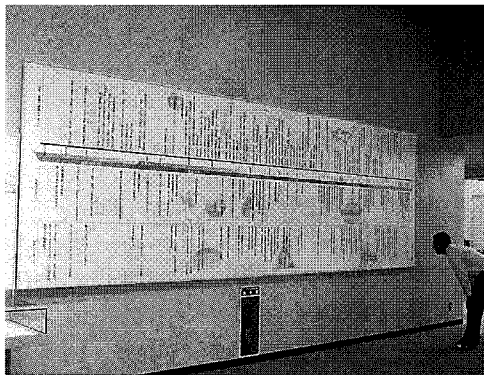
「大谷地をかこむ遺跡」で日向遺跡を中心とした縄文時代の幕開けを示す展示、「縄文時代のタイムカプセル」で押出遺跡から発見された彩漆土器を中心に縄文クッキーや木製品・土器・石器などを展示し、「古墳をつくる人々」で置賜地域の古墳より出土した遺物を中心に展示する常設展示室は、従来と基本的には変わらない。昨年来、米沢市台ノ上の縄文中期の大型土器群を展示し、目をひいている。今年度、押出遺跡の木製品類が保存処理のために一時本館の手を離れたために、それにかえて特徴的な押出型ポイントなどの石器類、漆附着などの土器、装身具などを展示している。

「古墳をつくる人々」のコーナーに展示している山形市お花山古墳群から出土した「変形振文鏡」「乳文鏡」管玉・曲玉・小玉などが、山形県埋蔵文化財センターが保管している鉄剣や円筒埴輪片など755点とともに12月3日付で山形県指定有形文化財となった。

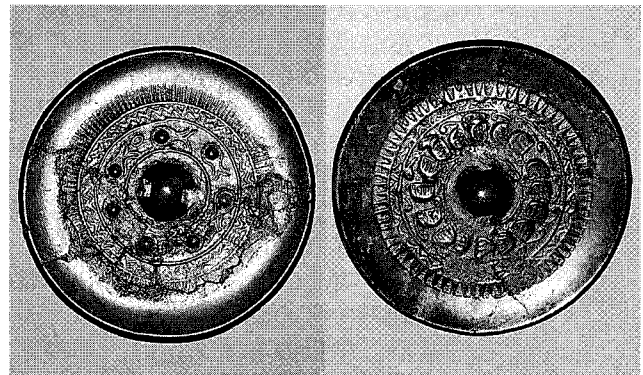
また、かねてからの懸案であった考古年表が完成し、ロビーにかかげられた。縦1.8メートル、横5.4メートルという大型のもので、「山形と置賜の遺跡とできごと」「日本のできごと」「世界のできごと」にわけて理解をはかるようにしている。

企画展開催時以外に催しているテーマ展は「古代・中世の考古資料」で、古墳時代後期から江戸時代までの資料を展示しているが、参考資料として韓国の新羅焼（竹田哲太郎氏寄託）、博多湾岸出土の中世輸入陶磁器なども加わり充実がはかられつつある。

10月から12月25日まで、研修室前の壁面を利用し「アンコールワット写真展」が催されたことも付け加えておこう。



新たに作成された考古年表



県指定となったお花山古墳の鏡
(変形振文鏡 右 径9.3cm)
(乳文鏡 左 径8.8cm)

(2) 第8回企画展

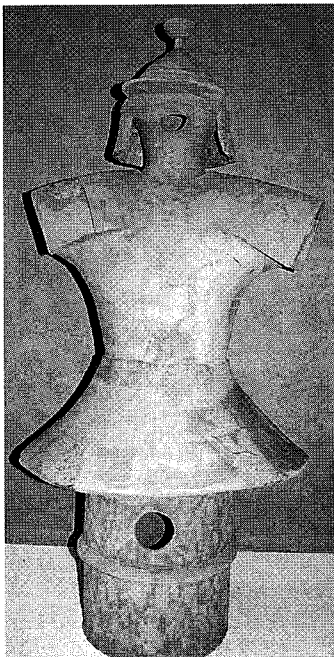
- ・テーマ 「やまがたの古墳とその時代」
- ・開期 1999年10月1日より11月30日まで2か月間

1993年の本館が開館された年の秋に「古墳と人々の暮らし」のテーマで第1回の企画展を開催している。その後新たに発見された古墳や遺物もふえ、研究の進展も著しいものがあるので、新たな企画で開催されることになった。

山形県は、古墳時代の古墳分布の北限の地で、既に4世紀にヤマト連合政権の影響が及んだといわれる。国家形成期における動向と人々の動きを古墳を中心とした出土資料から浮かび上がらせることをねらいとしている。そのために3つのテーマを設定して展示した。

「(1)やまがたの埴輪」では、4世紀の山辺町大塚天神古墳の円筒埴輪と破片、山形市菅沢2号墳の甲冑・盾・靱・家型などの器財埴輪と朝顔型・円筒埴輪、上市市土矢倉古墳の円筒埴輪など、県内の代表的な埴輪が網羅された。「(2)古墳に葬むられた人びと」では、古墳の模型、4世紀の古墳の周辺から発見された古式土師器類、下小松143号墳やお花山1号墳などの一括副葬品が内部主体をあらわすパネルとともに展示された。「(3)古墳時代の人々」のコーナーには、人々の暮らしのようすをうかがわせる物見台遺跡のかまどや土器類、西沼田の木製品、大在家の呪具、各種の土師器や須恵器がパネルとともに並べられた。展示ケースには、源福寺や狸沢山古墳の刀剣類、宮坂考古館蔵の安久津古墳の遺物、羽山古墳の金環や玉類、伝鮭川出土の双鳳環や八幡原No.50の土製棒付紡錘車などでかざられた。

この展示にあたって「やまがたの古墳とその時代」(44ページ)の図録が刊行され10月16日には大塚初重博士の講演と県内研究者によるシンポジウムが開催され約100人の参加があり、盛況であった。開期中の入館者は約3000人であった。



菅沢2号墳の甲冑形埴輪
(高さ110cm)



展示状況

4. 教育普及活動

(1) 公開講演会

10月16日(土)

受講者 92名

第1部 基調講演

『日本の中の山形の古墳』講師 明治大学名誉教授 大塚初重氏

第2部 パネルディスカッション

[パネリスト]

1. 米沢市教育委員会文化課主任 手塚孝氏…米沢市における古墳分布と主要古墳紹介
2. 日本考古学協会会員 佐藤鎮雄氏…南陽・川西・高畠における古墳分布と主要古墳紹介
3. 日本考古学協会会員 茨木光裕氏…山形盆地における古墳分布と主要古墳紹介
4. 山形県立博物館学芸主査 阿部明彦氏…庄内の主要古墳紹介、古墳時代の集落について

[コーディネーター] 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 館長 川崎 利夫

第8回企画展「やまがたの古墳とその時代」シンポジウムとして開催した。

基調講演録を、考古の会誌「うきたむ考古5号」に掲載予定。



公開講演会



公開講演会

(2) 体験教室

① 縄文の土偶づくり

1回目 6月13日(日) 形づくり

2回目 7月11日(日) 野焼き 参加者 13名

様々な土偶の写真を参考にしながら、粘土で形をつくる。まず、作る形を思い描くことができないと、作業がはかどらない。一部の参加者は家に持ちかえり、細部の仕上げを行

い、かなり完成度の高い遮光器土偶を作り上げた。野焼き時には、残り火を使って、料理も楽しんだ。

②縄文探検隊1－夏

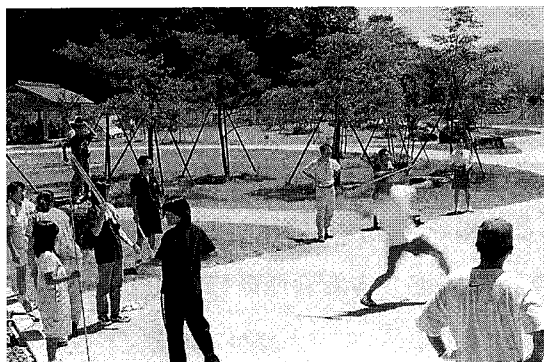
8月8日(日) 参加者 17名

火起こし、石器づくり、笛作り、縄文料理、弓矢、投げ槍体験。今年は、様々なアイテムを用意し、その中から、2・3選択して体験できるようにした。家族での参加者は、興味の対象によって、兄弟それぞれ異なる体験をすることができる。指導に手間取るため、作例などの館側の事前の準備がより必要であろう。

③縄文探検隊2－秋

11月14日(日) 参加者 17名 視察研修54名

弓矢・勾玉・編み布づくり、投げ槍、弓矢体験。夏に続いて、秋の探検隊を室内中心に行った。学生の参加者が多かったせいか、各々、2つ以上の体験及び作品を競うように作り上げた。その後、福島県より、白河文化財ボランティア研修として来館。当館視察、及び体験学習を行った。



投げ槍体験



縄文の土偶づくり

(3) 遺跡めぐり

①春の遺跡めぐり

4月25日(日) 参加者 32名

置賜地区白鷹町、長井市内の遺跡史跡を、桜の時期に訪ねた。深山観音堂(国重文)、笠松山経塚、称名寺(切支丹文書と、十字架)、古代の丘資料館、長者屋敷遺跡、釜の越桜、久保桜を見学、学習した。



秋の遺跡めぐり

②秋の遺跡めぐり

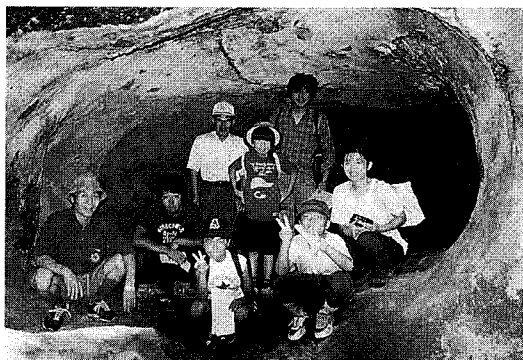
10月3日(日) 参加者 21名

隣の宮城に足を伸ばし、村田町歴史みらい館、白石市武家屋敷、白石城公園、鷹巣古墳群、片倉家墓所、七ヶ宿町水と歴史の館をおとずれ、見学学習した。

(4) うきたむ縄文まつり

9月5日に開催参加者 120名

縄文時代のくらし・遊び・祭りを体験しながら、縄文人のきびしくもおおらかでたくましい生き方を感じることをテーマに「まほろば古の里歴史公園」を会場に開催された。今年、事業の計画・準備・運営・後かたづけを実行委員会が中心となり実施してきた。また、



一ノ沢洞窟の探検

事前に参加者を把握するために「縄文料理券」を作りそれを販売（1枚1,000円）しながら呼びかけを行った。

実行委員会の構成は、高島町教育委員会・歴史公園管理組合・うきたむ考古の会・八幡神社文化財保存会・高島町観光協会・安久津・二井宿観光振興協議会で事務局には、うきたむ風土記の丘考古資料館があたった。

○うきたむ洞窟探検隊 9:00～12:00（8名）

日向洞窟・大立洞窟・一の沢洞窟・火箱岩洞窟を探検する。

○縄文体験 14:00～16:00

勾玉作り（24名）・編み布（7名）・弓矢作り（16名）を資料館研修室にて行う。

○縄文の料理試食 17:30～19:00（110名）

縄文クッキー・黒米おこわ・蒸し魚・芋煮・縄文ドリンク・にごり酒を試食する。

○縄文ミニ講座 19:00～19:30

講師 川崎考古資料館館長 演題「女と男の考古学」（スライド使用）

○月見の宴 19:30～20:30

縄文太鼓（代表金子俊郎氏）の演奏・歌・踊り

参加者には土器焼き時にいっしょに焼いた粘土作りの勾玉をプレゼントした。

(5) 第一期「考古学セミナー」

考古学に関心のある方々を対象に生涯学習の一環として実施。「やまがたの古墳とその時代」をメインテーマとして考古学の最前線で活躍されている方々を講師に迎えて、その研

究の成果を5回の講義に分けて開催した。

講座主宰者は高畠町長高梨吉正氏になっていただき受講料1,000円で修了された方(44名)には「修了証」を交付した。

●第一回 8月22日 39名 「東北の古墳時代」

講師 東北学院大学教授 辻 秀人氏

米作りが人類の歴史を変えた。九州に米作りが伝えられたのは2000年以上前のことで、東北にも伝わったが、2～3世紀に寒くなり一時米づくりがむずかしくなった。その後だんだん暖かくなるにつれて再度稲作がはじめられた。その技術は古墳とともに北陸から会津を経て置賜へと伝えられた。古墳文化が東北へひろがった。

●第二回 8月29日 37名 「山形の古墳」

講師 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館館長 川崎 利夫氏

山形の古墳は、日本海側では埴輪を伴った古墳としては一番北にある。又、前方後円墳も北限にある。これは大和連合国家の勢力の一番北にあることを意味している。又、村山の古墳は埴輪を伴っているなど置賜の古墳とは異なり、仙台(太平洋側)からの文化圏に入る。

●第三回 9月12日 37名 「古墳時代の集落」

講師 山形県立博物館学芸主査 阿部 明彦氏

弥生時代の住居の形は円形・隅丸方形・楕円形等地域差がある。古墳時代に入ると住居は円形ではなく方形となっている。方形の竪穴式住居は関東系の文化の影響によるものと思われる。5世紀から6世紀になると地理的にまとまった集落が出てくるようになり、その中の首長が群集墳墓を形成するようになる。

●第四回 9月19日 37名 「東北の埴輪」

講師 東北大学文学部助手 藤沢 敦氏

埴輪は県内では山形市周辺のみで出土しており、置賜には1ヶ所もない。宮城県には99ヶ所ぐらいあるが、新潟には1ヶ所もない。全般的に日本海側に少ない。また、期的には前期に盛んにつくられるが後半期には少なくなる。

仙台では窯跡も発掘されている。

●第五回 9月26日 32名 「東北の古墳からの副葬品から考える。」

講師 福島県立博物館学芸員 菊地 芳朗氏

副葬品とは遺骸にそえて葬られた品物をいい、それからは①古墳の造られた年代②埋葬に関する習俗③社会風俗④技術水準⑤その他政治や軍事のあり方などがわかる。

(6) その他の教育普及活動・共催事業

①風土記の丘写生大会 参加者 5名

高島桜まつり協賛事業

②学校共催事業

・高島町立第一中学校、選択社会科体験学習

5回に分けて、近隣遺跡の現地学習、および火おこし体験など。

・南陽市立赤湯中学校、課外授業

夏休み期間中に、土器作りと土器の野焼きの体験を行なった。

③置賜地区遺跡発掘調査報告会

・山形考古学会主催第53回研究大会として、行なった。

(7) 「うきたむ考古の会」の事業

◎考古の会総会及び講習 6月20日

会長（兼当館長）による、ミニ学習会の後、総会を行った。

◎会誌「うきたむ考古」4号の発行

総66頁、昨年度特別講演会「東北地方の弥生文化—その成立と展開」東北大学文学部教授須藤隆氏の講演抄他、会員による論文などを、掲載。

◎会員研修～みる・きく・ふれる遺跡の旅4～東北から東国へ古代の下野を訪ねるの開催

6月26日～27日 21名参加

◎うきたむ縄文まつりの協力

役員をはじめとした数名の会員によって、縄文まつりの縄文体験コーナーの講師として協力。



遺跡の旅

5. 資料の活用

①印刷物等掲載の状況（写真利用）

資料名	遺跡名	印刷物等の名称	発行者	発行期日	部数
考古資料館外観 考古資料館展示室		蔵王回遊圏通信 ピクシス	建設省国営みち のくの杜の湖畔 公園工事事務所	12月1日	8,000
炭化食品 石皿	押出遺跡	岩手日報	(株)岩手日報社	5月下旬	夕刊1面
日向洞窟 隆起線文土器 うきたむ縄文まつり 彩漆土器 展示室Ⅰ・Ⅱ 安久津2号墳	日向洞窟 押出遺跡 安久津古墳	小学校フォトカ ルチャーシリーズ 「全国古代遺跡 古墳鑑賞ガイド」	(株)小学館 実用図書編集部	11年10月	10,000
炭化食品	押出遺跡	「1・2年の基 礎チェック」	福武書店	11年12月	20,000

③資料貸出の状況（写真利用等）

資料名	遺跡名	利用の理由	申請者	借用期日	備考
炭化食品	押出遺跡	ハイビジョン・ミュージアム推進協議会	ハイビジョン・ミュージアム推進協議会	平成11年4月14日～	ホームページ
炭化食品	押出遺跡	来館者向けパソコンソフト	新潟県企画調整部	平成11年12月22日～ 平成12年1月31日	パソコンソフト
土器片	町下遺跡	修士論文のため	新潟大学大学院	平成11年12月19日	
鳥獣骨	日向洞窟	卒業論文のため	新潟大学学生 古沢妥史	平成11年10月	
ナイフ型石器	東山遺跡	卒業研究のため	米沢女子短大 鈴木麻弥	平成11年11月	

・刊行物一覧

平成11年4月1日から平成12年3月31日までの刊行状況は、下記のとおりです。

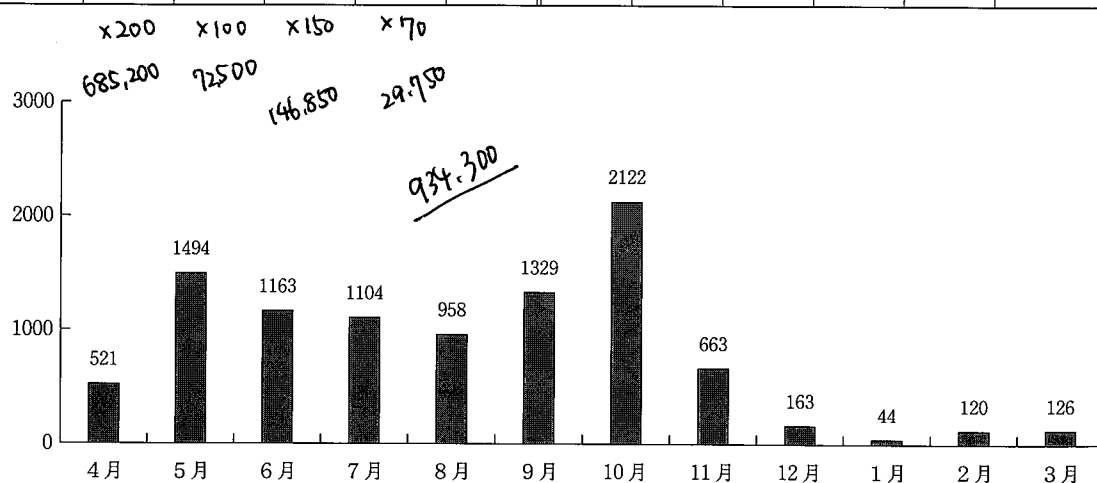
書名	発行日
館報 うきたむ13号	平成11年5月20日
第8回企画展図録 「やまがたの古墳とその時代」	平成11年10月1日
館報 うきたむ14号	平成11年11月30日

6. 入館状況

(1) 平成11年度 月別入館者一覧表

(人)

月分	有料入館者数 (人)					無料入館者数 (人)					合計
	個人		団体		計	減免者数		視察その他		計	
	一般	児童等	一般	児童等		一般	児童等	一般	児童等		
4	291	78	0	0	369	70	72	3	7	152	521
5	599	185	10	12	806	207	446	35	0	688	1,494
6	279	30	293	0	602	183	369	9	0	561	1,163
7	306	58	84	398	846	113	145	0	0	258	1,104
8	613	209	20	0	842	50	48	8	10	116	958
9	350	53	89	0	492	302	535	0	0	837	1,329
10	521	44	204	0	769	501	668	184	0	1,353	2,122
11	278	42	135	15	470	129	35	29	0	193	663
12	44	5	106	0	155	7	0	0	1	8	163
11.1	39	5	0	0	44	0	0	0	0	0	44
2	50	4	0	0	54	0	0	66	0	66	120
3	56	12	38	0	106	15	5	0	0	20	126
計	3,426	725	979	425	5,555	1,577	2,323	334	18	4,252	9,807



(2) 主な入館団体一覧

月日	団 体 名	人数	月日	団 体 名	人数
4.24	米沢市六郷公民館	30	9.9	河北町教育委員会社会教育課	26
4.29	たかはた春まつり	84	9.11	高島町屋代公民館ジュニアクラブ	67
5.7	高島町立第三中学校2年	18	9.12	南陽市・高島町体育指導員協議会	12
5.9	城南むつみ子供会	22	9.14	山形県立長井高等学校	252
5.12	高島町立第一中学校3年	36	9.16	東沢民生児童委員会	11
5.12	南陽市第6学年部研修	15	9.17	高島町立和田小学校	45
5.14	山形県立山形聾学校	27	9.17	交通安全母の会米沢市連合会	35
5.21	中山町立豊田小学校	37	9.19	河北町郷土史研究会	16
5.25	山形市立滝山小学校	127	9.21	高島町立二井宿小学校	36
5.27	仙台市沖野小学校	112	9.24	寒河江市立寒河江小学校	170
5.29	東北土器研究会	32	9.25	山形県立博物館解説ボランティア	25
6.4	川西町立東沢小学校	17	9.25	神奈川総合高等学校	47
6.5	南陽市立中川小学校	37	9.28	群馬県吉井町資料館友の会	33
6.9	米沢市六郷公民館	20	9.28	石川町野木沢実年大学	14
6.10	山形県立山形養護学校	3	10.1	山形県立荒砥高等学校	138
6.11	山形大学理学部地球環境学科	45	10.2	高島町立第二中学校文化部	27
6.17	高島町商工会(中国研修生)	15	10.6	米沢市立関根小学校	10
6.24	高島町立高島小学校	22	10.6	村山管内市町建設担当部課長研修	25
6.24	秋田県十文字町視察	8	10.9	高島町立高島小学校	197
6.26	南陽市立赤湯小学校	66	10.12	高島町教育委員会	7
6.26	高島町立糠野目児童館	91	10.14	高島町議会議員	8
6.29	米沢市立万世小学校	69	10.16	高島町立屋代小学校	90
7.1	山形県立やまなみ学園	81	10.17	河北町レディースセミナー	17
7.4	奥羽史談会	20	10.19	高島町立糠野目小学校	84
7.8	高島町立小学校校長会	8	10.19	糠野目地区歴史勉強会	15
7.8	尾花沢市教育委員会社会教育課	12	10.20	山形県立米沢工業高等学校	146
7.15	宮城県第一女子高等学校	359	10.21	長井市中道公民館	16
7.18	旭町子供会	43	10.22	高島町文化財保護委員会	7
7.22	東京都墨田区小学校	38	10.23	明月旅行会	25
7.22	越後アンギン伝承会	15	10.27	まほろばの里いきいきウオーク大会	80
7.25	高島町立時沢小学校	14	10.28	山形県立山形養護学校	8
7.22	退職婦人教師の会(米沢地区)	30	10.28	置賜地区高等学校地理・歴史教員研修	8
7.29	川西町立玉庭中学校	17	10.29	猪苗代町重要文化財保存会	19
7.29	寒河江市少年少女郷土史講座	16	10.30	山形県立高島高等学校	139
7.29	屋代村塾	20	11.4	天童更正保護婦人会	31
7.30	高校生ボランティアサークル	29	11.6	村山市郷土史研究会	20
8.6	まほろばの里農学校研修	18	11.11	米沢市ガイダンス教室	25
8.10	高島町立中学校教職員研修	16	11.14	福島県教育委員会	54
8.18	山形市小学校教育研究会	15	12.2	高島町小学校教頭会	7
8.19	小国町立玉川小学校	8	12.5	山形交通第2回歩け歩けエンジョイウォーキング	106

(3) 来館者アンケート

このアンケートは、平成11年度のアンケート等を回収して、その結果をまとめたものです。

(1) 展示及び施設全般に関する意見

- ◎ 企画展「やまがたの古墳とその時代」の展示、資料とも大変すばらしい(40代男性)
- ◎ 身近なところに、古墳や遺跡があることに驚きました。子供の学習の付き添いですがおもしろかった。(30代女性)
- ◎ 一ヶ所で古墳群を見られるのは良い。高阜は色々なものがありすばらしい。(40代女性)
- ◎ 遙か昔に歴史の授業で出て来て以来の言葉が多く、もう少しそのものズバリの説明も付けてもらえると良かったと思われます。(20代女性)
- ◎ 昔の生活方法などが少しでも学ぶことができ大変良い体験をさせていただきました。(10代女性)
- ◎ 古代にも豊かな文化があり、人々が生き生きと素朴に生活していた様子が伝わってきます。
どんな時代にも応じて人々は知恵を用いて小さな社会を作っていたのでしょう。(20代女性)
- ◎ 古代のロマンが手に取るように展示され説明もわかりやすかった。(40代男性)
- ◎ 古代の方が現代人より頭が良かったのかなと人と人とのつながりを強く感じた。(20代女性)
- ◎ ビデオのコーナーがわかりやすくて良かった。(20代女性)
- ◎ 昔の物や生活の様子が良く見れてよかった。(10代女性)
- ◎ 古墳や住居に実際に入れたので良かった。いろいろなものが見れて良かった。また来たいです。(10代女性)
- ◎ 埴輪と土偶の見分け方などの資料を作ってほしい。(10代女性)
- ◎ たくさんの資料がありいいところだった。(10代女性)
- ◎ 遺物から、いろいろと古代のおもしろさを学んだ。(40代男性)

(2) 考古資料館の体験学習等に参加された意見等

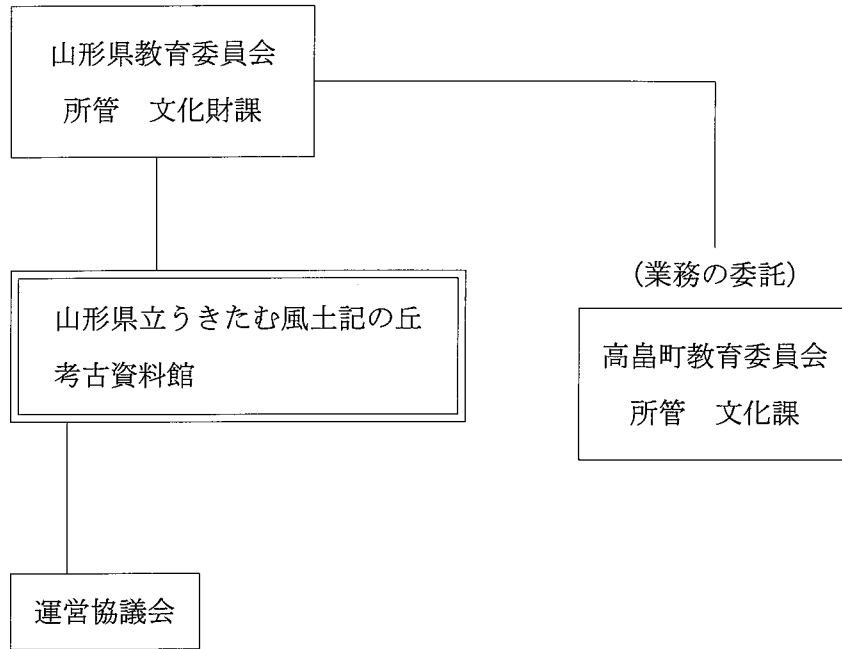
- ◎ 火おこしが大変だったけどたのしかった。槍投げはあまりとばなかったけどまたやりたいです。(10代女性)
- ◎ 火おこしや、槍投げが楽しかった。(10代女性)
- ◎ 思ったより勾玉作り体験は、穴をあける作業や石を丸くする作業が手間取った。しかし、けっこう楽しかったので、次回また参加したい。(20代男性)

考古資料館に来館しての感想文

- ☆ 拝啓、若葉が目にしみる季節となりました。
先日、宇佐美さんには大変お世話になりました。
その後、お変わりございませんでしょうか。私たちは、おかげさまでみんな元気に毎日を過ごしております。今回わたしたちは、縄文時代について学習させていただきました。
わたしは、昔の人が、狩りや猟をして生活していたことに驚きました。今は、スーパーに行けば全部揃っているからだとおもいます。
まだまだ、わからないことがあるので、これを機会にいろいろ知っていきたいとおもいます。
また、チャンスがあればよろしくお願いします。
今回は、本当にありがとうございました。それでは、お元気でさようなら（高畠三中2年女子生徒）
- ☆ わたしは、少し授業で置賜のことを勉強していたけれど、いざ見学してみると知らないこと多くて驚きました。そして、質問にもすぐ答えてくれたりとても早く理解することができました。
ありがとうございました。縄文時代の人はずっと工夫していたこと、槍とか大きな壺とかもすごいなあとおもいました。置賜のことをもっと知りたくなりました。今回は本当にありがとうございました。（米沢五中松原分校2年女子生徒）
- ☆ 島津先生お元気ですか。あの時はむずかしい言葉をわかりやすく説明してくださってありがとうございました。わたしの知らなかったことも、その説明でいろいろなことがわかりました。
それから、初めて体験した「火おこし」ではなかなか火がつきませんでした。でも、とってもおもしろかったです。「やりなげ」では、なかなか遠くに飛ばなくて少し手もいたくなったりしたけれどすごくいい体験をしたなあと思っています。そして、一日昔の人になったような気分がしたし昔の人たちの苦勞もすごく伝わってきました。あの時は本当にお世話になりました。
ありがとうございました。また、みんなで遊びにいきます。（玉川小 6年女子児童）
- ☆ 今回は、展示品の説明を丁寧にいただき、楽しくまた、たくさんのことを学ぶことができました。ありがとうございました。
時間も余裕があり、長い時間見学させていただきました。何度かきたことがあります。初めて知ること、今までそうでもなかったのに興味を持ったものがたくさんありました。
特に、「うきたむ」ということばがアイヌ語からきているとか「置賜」という名前の由来。自分の住んでいる所なのに全く知りませんでした。いろいろ勉強になったと思います。
古い歴史のあるこの場所をこれからも大切にしていきたいと思えます。
本当にありがとうございました。（高畠二中 三年女子生徒）

7. 管理及び運営

(1) 組織・職員



山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 職員名簿

職名	氏名	住所	電話番号	備考
館長(嘱託)	川崎 利夫	天童市中里 2-3-12	023-655-2693	
館長代理	今井四郎右衛門	高島町大字下和田 1208	0238-56-2706	
主事	大河原 恵美子	高島町大字高島 2446-4	0238-52-1651	
主事	島津 美智雄	高島町大字竹森 4467	0238-52-0283	
嘱託	宇佐美 みふゆ	高島町大字下和田 674	0238-56-3070	
臨時職員	日詰 由美	高島町大字安久津 1577	0238-52-2766	4月～9月
臨時職員	近野 ひとみ	高島町大字金原 635	0238-52-3676	10月～1月

(2) 運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

(五十音順)

氏名	住所	自宅電話番号	備考
安彦好重	山形市北山形1-6-8	023-644-9246	山形県文化財保護協会会長
小杉基	米沢市中央3-1-29-13	0238-23-4679	米沢市教育委員会文化課長 県博物館連絡協議会副会長
木場清耕	山形市双月153-7	023-634-2730	財団法人山形県埋蔵文化財センター理事長
佐藤鎮雄	南陽市三間通り1278	0238-40-2053	高島町立高島小学校長 県文化財保護指導員
浜田清明	米沢市東3-5-22	0238-23-2318	山形県文化財保護協会会員
山崎正	高島町大字高島1543-7	0238-52-2013	高島町立郷土資料館長
吉野智雄	上山市須田坂22	023-674-2946	上山市立図書館長 県文化財保護指導員

委員長 浜田 清明 副委員長 吉野 智雄

[今年度の運営協議会]

- 第1回 開催期日 11月10日 本館研修室
会議内容 (1)平成10年度考古資料館事業報告
(2)平成11年度考古資料館事業状況報告
(3)その他
- 第2回 開催期日 2月29日 本館研修室
会議内容 (1)平成11年度考古資料館事業報告
(2)平成12年度考古資料館事業計画
(3)その他

8. まほろば古の里歴史公園

1. はじめに

公園の整備は、平成3年から始められ平成10年4月に完成し、今年で2年目になりました。山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館はこの公園の一角に位置し、公園利用者のなかの一部の人が考古資料館を利用するなど相乗効果が生まれてきております。

また、国道113号線をはさんで向いがわに高島町が整備をすすめている“道の駅”（ウォーキングセンター）が平成12年3月末に完成の予定となっております。公園の利用とあわせてより一層利用者の増加が期待できます。

2. 公園整備の基本方針

公園は、創造体験活動ゾーン・古代生活体験ゾーン・古代学習ゾーン・修景散策ゾーンの四つにゾーニングされています。

① 創造体験活動ゾーン

学習機能や創造体験、遊びの機能を持つ活動的なゾーンです。

創造の館（木造平屋建・建築面積371㎡）は、ガス窯（1）・電気窯（1）のある陶芸実習室とチーズや豆腐や肉の燻製作りや山菜・縄文料理等ができる創造活動室のある施設です。通常の体験は、陶芸と木工であるが年間を通していろいろの体験教室を開催しております。

この創造の館に付属して“いにしへの窯”があります。これは耐火レンガ造りの穴窯で、赤松を燃料として本格的な作陶ができます。当面は、町内の陶芸愛好者や陶芸教室参加者・陶芸同好会が中心となって運営をしております。

野焼き広場は、縄文土器や土偶などの野焼きができる広場です。このゾーンでは、野焼き・穴窯・ガス窯・電気窯の四種類の本格的な焼き物体験ができるようになっております。また、隣接している東屋には、野外卓や炊事炉を設置しているので芋煮会やバーベキューができます。遊具広場には、丸太を使った多種類の遊具をコース状に並べてありますので、親子で楽しめます。

② 古代生活体験ゾーン

公園の北側には、棚田が残っており、この自然環境を生かした古代の生活体験をするゾーンがあります。棚田には古代米（黒米）を畑にはソバ・里芋・サツマイモ等を栽培しております。平成10年から「古の里農楽校」として参加希望者を募り実際に農業を体験してもらっております。また、木の実の森や味噌根古墳を巡りながら散策も出来ます。

③ 古代学習ゾーン

高島町の歴史の紹介・学習ゾーンですが、縄文竪穴式住居（復元）2棟については、高島町上和田の金谷遺跡の遺構から復元されたもので、約4千年前の縄文時代中期のものです。

安久津古墳は、高島町の屋代川右岸沿いの山間地に群集しており30数基の古墳が確認されております。公園の中にはそのうち安久津1・2号墳の2基が元の位置に復元されており、そのうちの一基には石室があり中に入ることもできるようになっており

ます。

④ 修景散策ゾーン

来園者が、四季を通した花や景色を楽しめるゾーンとして整備をしております。

万葉の花園・アヤマ園をはじめ修景池を配置し、隣接する安久津八幡神社の境内にある三重の塔との景観に配慮した植栽を行っております。また、池にはアヒル・ガチョウ・アイガモ・鯉等を飼育しております。今後は蓮池やスイレン池として整備を計画しております。

3. 平成 11 年度整備内容

①万葉の花園整備工事	1,639,000 円
②修景木の植栽工事	430,000 円
③池の排水口工事	660,000 円

4. 利用の案内

[所在地] 山形県東置賜郡高島町大字安久津 2136 番地外

[敷地面積] 85,667m²

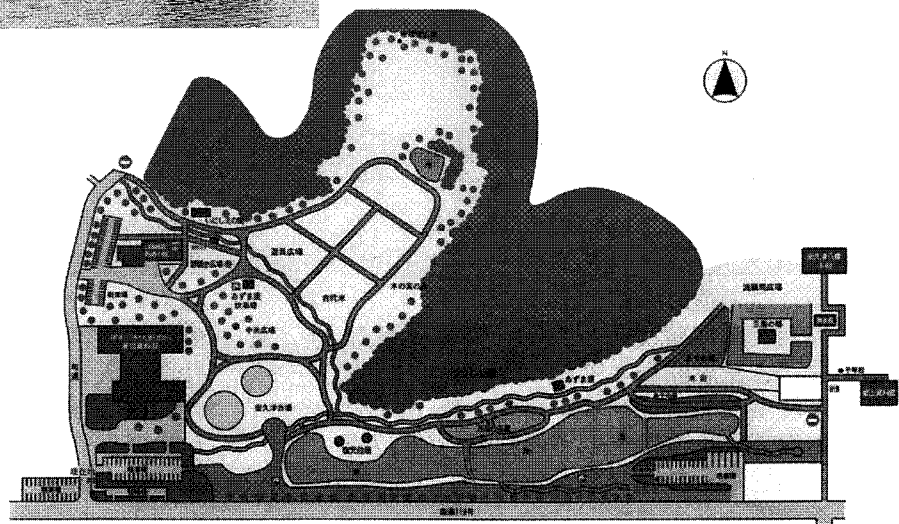
[整備年次] 平成 3 年度～ 9 年度

[総事業費] 10 億 3 千万円

[管理者] 高島町教育委員会 文化課



いにしえ まほろば古の里歴史公園



9. 受贈資料・図書・書籍 (平成10年4月～平成11年2月)

館報・年報類

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. すみだ郷土文化資料館常設展示図録 | すみだ郷土文化資料館 |
| 2. 理正院文書・日野家文書目録第5集 | 愛媛県立歴史文化博物館 |
| 3. 年報 平成10年度 | 愛媛県歴史文化博物館 |
| 4. 菊山隆氏所蔵資料 | 愛媛県歴史文化博物館 |
| 5. 佐田岬半島の仕事着 (裂織り) | 愛媛県歴史文化博物館 |
| 6. 西条藩松平家の雛と雛道具 | 愛媛県歴史文化博物館 |
| 7. 下関市立考古博物館年報 第4号 | 下関市立考古博物館 |
| 8. 甘木歴史資料館報第1集 | 甘木歴史資料館 |
| 9. 岩手県立博物館収蔵資料目録第14集 | 岩手県立博物館 |
| 10. 岐阜県博物館報 第22号 | 岐阜県博物館 |
| 11. 宮崎県総合博物館年報 第28号 | 宮崎県総合博物館 |
| 12. 玉里村立史料館報第4号 | 玉里村立史料館 |
| 13. 九州歴史資料館年報 | 九州歴史資料館 |
| 14. 高知県立歴史民俗資料館 年報 第8号報 | 高知県立歴史民俗資料館 |
| 15. 佐賀県立博物館所蔵品目録1991 歴史 美術 I | 佐賀県立博物館 |
| 16. 佐賀県立博物館所蔵品目録1992 民俗 | 佐賀県立博物館 |
| 17. 佐賀県立博物館所蔵品目録1993 考古 | 佐賀県立博物館 |
| 18. 佐賀県立博物館所蔵品目録1993 | 佐賀県立博物館 |
| 19. 年報No.29 | 佐賀県立博物館・美術館 |
| 20. 年報 第12号 平成7年度 | 財団法人 山武郡市文化センター |
| 21. 年報 第13号 平成8年度 | 財団法人 山武郡市文化センター |
| 22. 年報 第14号平成9年度 | 財団法人 山武郡市文化センター |
| 23. 北海道開拓の村要覧 平成11年度 | 財団法人 北海道開拓の村 |
| 24. 平成9年度版年報 | 財団法人横浜市ふるさと歴史財団 |
| 25. 平成10年度岩手県立博物館年報 | 財団法人岩手県文化振事業団 |
| 26. 年報 第14号 平成9年度 | 財団法人広島県埋蔵文化財調査センター |
| 27. 江戸東京博物館要覧 | 財団法人東京都歴史文化財団 |
| 28. 資料館報No.30 | 埼玉県立さきたま資料館 |
| 29. 山形県立博物館報 平成11年度 | 山形県立博物館 |
| 30. 山形県立博物館収蔵資料目録 | 山形県立博物館 |
| 31. 山形県立博物館収蔵資料目録 | 山形県立博物館 |
| 32. 山形県立博物館収蔵資料目録 | 山形県立博物館 |
| 33. 市立市川考古博物館年報 第24号 | 市立市川考古博物館 |
| 34. 市立市川考古博物館年報 第25号 | 市立市川考古博物館 |
| 35. 市立市川考古博物館年報 第26号 | 市立市川考古博物館 |
| 36. 平成10年度 年報 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 37. あっ この遺跡知っている | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 38. 鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報 第13号 | 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 |
| 39. 斎藤茂吉記念館報 平成10年度 | 社団法人斎藤茂吉記念館 |
| 40. 東京埋蔵文化財センター年報 第19号 | 社団法人東京埋蔵文化財センター |
| 41. 秋田県埋蔵文化財センター年報 第17号 | 秋田県埋蔵文化財センター |
| 42. 秋田県立博物館 年報 | 秋田県立博物館 |
| 43. 松戸市博物館年報 第6号 | 松戸市立博物館 |
| 44. 神宮の博物館 | 神宮徴古館・農業館 式年還宮記念 神宮美術館 |
| 45. 史跡三内丸山遺跡年報 第1号 | 青森県教育委員会 |

46. 史跡三内丸山遺跡年報 第2号
47. 青森県立郷土館収蔵資料図録
48. 青森県立郷土館報
49. 千葉県房総風土記の丘年報 第21号
50. 草津市文化財年報 平成9年度
51. 草津市文化財年報 平成8年度
52. 多賀城市埋蔵文化財調査センター年報
53. 大阪府立近つ飛鳥博物館年報 第4号
54. 大分県立歴史博物館年報 1998
55. 宇佐風土記の丘歴史民俗資料館年報 1997
56. 年報15 平成10年度
57. 東北大学埋蔵文化財調査年報 第11号
58. 東北大学埋蔵文化財調査年報 第12号
59. 東北歴史資料館年報 平成10年度
60. 東北歴史博物館 展示案内
61. 東北歴史博物館
62. 同志社大学歴史資料館報 第2号
63. なす風土記の丘資料館年報 平成10年度
64. 栃木県埋蔵文化財センター年報 第9号
65. 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館年報 第13号
66. 考古資料目録
67. 年報 平成10年度版
68. 浜田広介記念館館報第3号
69. 富山県立「立山博物館年報 1999年第8号
70. 米沢市立上杉博物館年報 Vol.10
71. 名古屋市見晴台考古資料館報16
72. 明治大学博物館 年報1998年度
73. 明治大学博物館図書目録第1号

- 青森県教育委員会
青森県郷土館
青森県立郷土館
千葉県房総風土記の丘
草津市教育委員会文化財保護課
草津市教育委員会文化財保護課
多賀城市埋蔵文化財調査センター
大阪府立近つ飛鳥博物館
大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館
団法人広島県埋蔵文化財調査センター
東北大学埋蔵文化財調査研究センター
東北大学埋蔵文化財調査研究センター
東北歴史資料館
東北歴史博物館
東北歴史博物館
同志社大学歴史資料館
栃木県教育委員会
栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
苫小牧市博物館
苫小牧博物館
浜田広介記念館
富山県立山博物館
米沢教育委員会
名古屋市見晴台考古資料館
明治大学博物館事務室
明治大学博物館事務室

図録等

1. 桜井の弥生時代
 2. 一関の算額
 3. 修羅
 4. 古墳文化の終焉 第4回企画展
 5. 総(ふさ)のくこの古墳と埴輪
 6. 新弥生紀行
 7. 横浜発掘物語 目で見る発掘の歴史
 8. 戦乱の世を彷彿させる上杉の鎧と火縄銃
 9. 光記念館
 10. たこ凧あがれ
 11. 絵図・古文書で探る村と名主
 12. 中世よこはまの学僧 印融
 13. 横浜市歴史博物館目録第6集
 14. 兵の時代
 15. 兵の時代 展示案内
 16. 新収蔵資料展98
 17. 寧處に違あらず
 18. 特別展おもちゃ
 19. よみがえる漢王朝
 20. 百舌・古市
- 桜井市埋蔵文化財センター
一関市博物館
大阪府立近つ飛鳥博物館
栃木県教育委員会
芝山町立芝山古墳 はにわ博物館
国立歴史民俗博物館
横浜市歴史博物館
財団法人 宮坂考古館
株式会社 弘文社
横浜市歴史博物館
横浜市歴史博物館
横浜市歴史博物館
(財)横浜市ふるさと歴史財団
横浜市歴史博物館
横浜市歴史博物館
横浜市歴史博物館
滋賀県立安土城考古博物館
秋田県立博物館
読売新聞大阪本店
大阪府立近つ飛鳥博物館

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 21. 平泉の埋蔵文化財 | 平泉郷土館 |
| 22. 動物デザイン考古学 | 仙台市富沢遺跡保存会 |
| 23. 伝統の朝顔 | 国立歴史民俗博物館 |
| 24. 江戸時代の瀬戸内海海道をゆく | 愛媛県立歴史文化博物館 |
| 25. 藝林荘古典籍目録 | 古典籍 藝林荘 |
| 26. 第5回企画展 トイレと環境 | 山形県長井市教育委員会 |
| 27. 凶録 笹山遺跡 | 十日町博物館 |
| 28. 第4回企画展 つわものたちの夢 | 一関市博物館 |
| 29. 田村家文書を読む | 一関市博物館 |
| 30. 「縄文人の暮らしと環境」早稲田大学による貝塚研究 | 早稲田大学文学部考古学研究室 |
| 31. 弥生の装い—アクセサリ—とその呪術性— | 下関市立考古博物館 |
| 32. 安土城・1999 | 滋賀県安土城郭調査研究所 |
| 33. 環日本海地域の自然、人、文化 | 新潟大学 |
| 34. 観音山古墳と東アジア世界 | 群馬県立博物館 |
| 35. 栃木の遺跡 | 栃木県なす風土記の丘資料館 |
| 36. 紬の世界 伝統の技と美 | 山形県博物館 |
| 37. 古代の技術を考える～大量生産への工夫と技術～ | 島根県立八雲立つ風土記の丘 |
| 38. 特別展よみがえる環濠集落弥生時代後期の名古屋 | 名古屋市見晴台考古資料館 |
| 39. 企画展 東海の貝塚 | 安城市歴史博物館 |
| 40. 掘り出された安城の歴史 | 安城市歴史博物館 |
| 41. 特別展「若狭の古代遺跡—発掘の成果と出土品— | 福井県立若狭歴史民俗資料館 |
| 42. 地方王権の時代 | 玉里村立資料館 |
| 43. 仏堂のある風景 | 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館 |
| 44. 江戸モード大図鑑 | 国立歴史民俗博物館 |
| 45. 祈りのかたち東北地方の仏像 | 東北歴史博物館 |
| 46. 火山立山大噴火 | 富山県立山博物館 |
| 47. 立山に奇草を求めて | 富山県立山博物館 |
| 48. 中国・四国地方の装飾古墳 | 熊本県立装飾古墳館 |
| 49. 丹後発掘 | 京都府立丹後郷土資料館 |
| 50. 縄文の旅 | 山梨県立考古博物館 |
| 51. 長崎県の貝塚と遺跡 | 千葉市立加曾利貝塚博物館 |
| 52. 古代の瓦 常陸国府の瓦づくり | 霞ヶ浦町郷土資料館 |
| 53. さざなみの志賀 穴太遺跡から穴太廃寺へ | 安土城考古博物館 |

紀要等

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 東北歴史資料館研究紀要第25巻 | 東北歴史資料館 |
| 2. 東北歴史資料館研究紀要第24巻 | 東北歴史資料館 |
| 3. 一関市博物館研究報告 第2号 | 一関市博物館 |
| 4. 研究紀要第14号 | 秋田埋蔵文化財センター |
| 5. MUSEUM No.557 | 東京国立博物館 |
| 6. MUSEUM No.558 | 東京国立博物館 |
| 7. 市立市川考古博物館研究紀要第2号 | 市立市川考古博物館 |
| 8. 市立市川考古博物館研究紀要第1号 | 市立市川考古博物館 |
| 9. 群馬県立歴史博物館紀要第20号 | 群馬県立歴史博物館 |
| 10. 紀要 第7号 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 11. 研究報告第9号 | 苫小牧市博物館 |
| 12. 研究紀要 | 下関市立考古博物館 |
| 13. 秋田県立博物館研究報告第24号 | 秋田県立博物館 |
| 14. 明治大学博物館研究報告第4号 | 明治大学博物館事務室 |
| 15. 調査研究年報 第23号報 | 青森県立郷土館 |

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 16. 今純三作品目録 | 青森県立郷土館 |
| 17. 研究論集 | 東京埋蔵文化財センター |
| 18. 仙台市博物館調査研究報告第 19 号 | 仙台市博物館 |
| 19. 研究輯録 IX | 財団法人広島県埋蔵文化財調査センター |
| 20. 山形県立博物館研究報告 | 山形県立博物館 |
| 21. 宮崎県総合博物館研究紀要第 21 輯 | 宮崎県総合博物館 |
| 22. 研究紀要 第 5 号 | 財団法人京都市埋蔵文化財研究所 |
| 23. 研究紀要第 4 号 | 愛媛県歴史文化博物館 |
| 24. 山寺芭蕉記念館紀要第 4 号 | 財団法人山形市文化振興事業団 |
| 25. MUSEUM 東京国立博物館研究誌No.559 | 東京国立博物館 |
| 26. MUSEUM 東京国立博物館研究誌No.560 | 京国立博物館 |
| 27. 犬張子 調査と映像記録第 6 集 | 東京都江戸東京博物館 |
| 28. 松戸市立博物館紀要 第 6 号 | 松戸市立博物館 |
| 29. 貝層の研究 I | 千葉市立加曾利貝塚博物館 |
| 30. 貝塚博物館紀要 第 26 号 | 千葉市立加曾利貝塚博物館 |
| 31. 國學院大學博物館学紀要 第 23 輯 | 國學院大學博物館学研究室 |
| 32. 名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第 1 号 | 名古屋市見晴台考古資料館 |
| 33. 岐阜県博物館調査研究報告 | 岐阜県博物館 |
| 34. 歴史が語る会津の歴史 | 会津史史料集委員会 |
| 35. 仙台市富沢遺跡保存館研究報告 2 | 仙台市富沢遺跡保存館地底の森ミュージアム |
| 36. 調査研究書 | 佐賀県立博物館佐賀県立美術館 |
| 37. 研究論集 | 九州歴史資料館 |
| 38. 研究紀要 | 富山県立博物館 |
| 39. 鯨類化石調査報告書 | 山形県立博物館山形県立博物館 |
| 40. MUSIAM 東京国立博物館研究誌No.561 | 東京国立博物館 |
| 41. MUSIAM 東京国立博物館研究誌No.562 | 東京国立博物館 |
| 42. 歴史系博物館における子供学習プログラムの研究報告書 | 山地純 |
| 43. 研究紀要 | 栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター |

報告書等

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. 桜林遺跡 他 | 安城市教育委員会 |
| 2. 南原埋蔵文化財発掘調査概報 他 | 会津若松市教育委員会 |
| 3. 高瀬山遺跡 他 | 寒河江市教育委員会 |
| 4. 甘木市文化財調査報告書第 40～47 集 | 甘木市教育委員会 |
| 5. 岩手の貝塚 岩手県文化財調査報告書第 102 集 | 岩手県教育委員会 |
| 6. 館山遺跡 旧石器・縄文・弥生 | 玉里村教育委員会玉里村史料館 |
| 7. 大宰府史跡 平成 10 年度発掘調査概要 | 九州歴史資料館 |
| 8. 小島田八日市遺跡 発掘調査報告書第 175 集 | 群馬県教育委員会 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 |
| 9. 古川市第 17～21 集 | 古川市教育委員会社会教育課 |
| 10. 安久津古墳群 発掘調査報告書 | 高島町教育委員会 |
| 11. 印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第 131 集他 | 財)印旛郡市文化財センター |
| 12. 第 12 回調査研究報告 | 埼玉県立さきたま資料館 |
| 13. 向台貝塚資料図譜 | 市立市川考古博物館 |
| 14. 後川遺跡 II 他 | 滋賀県教育委員会 |
| 15. 史跡城輪柵跡 | 酒田市教育委員会 |
| 16. 池内遺跡 第 282 集 他 | 秋田県教育委員会 |
| 17. 干潟向畦ヶ浦遺跡 他 | 小郡市教育委員会 |
| 18. 元窯跡群 第 5 集 | 新潟県荒川町教育委員会 |
| 19. 十日町市内遺跡試掘確認調査報告書 | 新潟県十日町市教育委員会 |
| 20. 新潟大学考古学研究室調査研究報告 1 | 新潟大学人文学部考古学研究室 |

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 21. 三内丸山遺跡Ⅶ 他 | 青森県教育委員会 |
| 22. 治平衛館遺跡発掘調査報告書 他 | 川西町教育委員会 |
| 23. 柳遺跡発掘調査概要 | 草津市教育委員会文化財保護課 |
| 24. 市川橋遺跡第11次 他 | 多賀城市教育委員会 |
| 25. 佐沢楯山城遺跡調査報告書 | 大江町教育委員会 |
| 26. 室小路土地地区画整理事業発掘調査報告書 | 滝沢村教育委員会 |
| 27. 日中中日共同尼雅遺跡学術調査報告書 | 中日日中共同ニヤ遺跡学術調査隊 |
| 28. 磐根地区発掘調査報告書1 他 | 猪苗代町教育委員会 |
| 29. 市内遺跡発掘調査報告書(7) 他 | 長井市教育委員会 |
| 30. 市内遺跡分布調査報告書 | 鶴岡市教育委員会 |
| 31. 西沼田遺跡 他 | 天童市教育委員会 |
| 32. 多摩ニュータウン遺跡50集 他 | 東京都教育委員会 東京都埋蔵文化財センター |
| 33. 観音寺山遺跡発掘調査報告書 | 同志社大学歴史資料館 |
| 34. 多功南原遺跡 他 | 栃木県教育委員会 財団法人栃木県文化振興実行団 |
| 35. ポンアヨロ4遺跡発掘調査概要報告書 | 白老町教育委員会 |
| 36. 大樽遺跡第2・3次 他 | 米沢市教育委員会 |
| 37. 見晴台遺跡第34・36・37・38次発掘調査の記録 | 名古屋市見晴台考古資料館 |

調査説明資料

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 小山崎遺跡 | 山形県立博物館 |
| 2. 平成9年度京都市埋蔵文化財調査概要 | 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所 |
| 3. 汐留遺跡 | 財団法人 東京都教育文化財団東京埋蔵文化財センター |
| 4. 福岡県小郡市 市内遺跡等分布地図 | 小郡市教育委員会 |
| 5. 双葉町遺跡 | 山形市教育委員会 |
| 6. 山形市 梅ノ木遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 7. 山形市一ノ坪遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 8. 山形市馬洗場B遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 9. 山形県志戸田縄遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 10. 山形市 石田遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 11. 山形市中地藏遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 12. 天童市 砂子田遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 13. 天童市 板橋2遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 14. 谷柏丁遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 15. 中里遺跡調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 16. 小田島城跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 17. 河北町四ツ塚遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 18. 服部遺跡藤冶屋敷遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 19. 向河原遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 20. 萩原遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 21. 山形市小松原窯跡調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 22. 天童蔵増押切遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 23. 的場遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 24. 太夫小屋2・3遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 25. 藤島D遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 26. 鶴ヶ岡城跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 27. 山田遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 28. 中川原C遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 29. 渋江遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 30. 北柳1遺跡 | 山形県埋蔵文化財センター |

10. 日 誌 抄

- 4 / 1 辞令交付式（今井館長代理、大河原主事赴任）
4 / 7 歴史公園管理組合総会
4 / 19 本館職員研修（町内遺跡めぐり）
4 / 25 春の遺跡めぐり（白鷹・長井方面）32名参加
4 / 29 歴史公園春まつり・うきたむ考古の会役員会
5 / 5 子どもの日無料開館日239名入館
5 / 29 東北古代土器研究会32名
5 / 30 歴史公園古代米田植え
6 / 13 土偶づくり教室11名
6 / 20 うきたむ考古の会総会20名
6 / 26～27 遺跡の旅栃木県那須・しもつけ風土記の丘など23名
7 / 11 土器・土偶野焼き 13名
7 / 22 文化庁による押出遺跡の遺物修復のための調査
8 / 8 縄文探検隊パート1（体験教室など）17名
8 / 22 考古学セミナー1「東北の古墳時代」辻秀人氏39名
8 / 25 「縄文まつり」実行委員会
8 / 29 考古学セミナー2「山形の古墳」川崎利夫館長37名
9 / 5 うきたむ縄文まつり洞窟探検～体験教室～縄文まつり
延べ120名参加
9 / 12 考古学セミナー3「古墳時代の集落」阿部明彦氏37名
9 / 19 考古学セミナー4「東北の埴輪」藤沢敦氏37名
9 / 26 考古学セミナー5「東北の古墳からの副葬品」菊地芳朗氏32名
閉講式並びに茶話会
10 / 1 第8回企画展「やまがたの古墳とその時代」開催
10 / 3 秋の遺跡めぐり（宮城県村田・白石・七ヶ宿）21名
10 / 16 講演とシンポジウム92名
講演「日本のなかの山形の古墳」大塚初重氏
シンポジウム「山形の古墳とその時代」
11 / 3 文化の日無料開館日124名人館
11 / 7 いにしへの里農楽校収穫祭
11 / 10 本館運営協議会
11 / 14 縄文探検隊パート2 17名
11 / 30 第8回企画展開展
2 / 27 置賜地区遺跡発掘調査報告会（山形考古学会53回研究大会）
2 / 29 本館運営協議会

11. 利用案内

- ◆ 交通案内 JR高島駅よりタクシーで15分
JR高島駅より自転車で40分
※高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道があります。
- ◆ 開館時間 4月1日～10月31日／AM9：00～PM4：30
11月1日～3月31日／AM9：30～PM4：30
- ◆ 休館日 月曜日、国民の祝日
(こどもの日と文化の日は、無料で開館します。)
年末年始(12月28日～1月4日まで)
4月29日、5月3～5日は開館しております。
- ◆ 入館料金 一般200円(150円)、児童等100円(70円)
()は、20名以上の団体料金
※小・中・高校生の入館は無料です。(平成12年4月1日より実施)

- ◆ 入館料の減免 次の基準により減免(無料入館)します。

1. こどもの日、文化の日その他教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する。
2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、各号の一つに該当する者とする。
 - (1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
 - (2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者

※上記2の入館料の減免を受けようとする方は、入館減免申請書(別記様式)を考古資料館に提出してください。尚、詳細については、当館にお問い合わせください。

平成 年 月 日

高島町教育委員会教育長 殿

申請者 住所

氏名 ⑩

【電話 () 】

入 館 料 減 免 申 請 書

下記により山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館の入館料を減額（免除）
くださるよう申請します。

記

入 館 日 時	平成 年 月 日 時頃
入 館 人 員	一般 人 児童等 人 計 人
代表者職氏名	職 氏名
入館の目的	
減免を必要とする理由	
備 考	

- (注) 1 提出部数 1部
 2 提出先 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
 3 提出期限 入館日の10日前
 4 規 格 A4
 5 留意事項 申請者は学校にあっては学校長
 入館人員には付添人数も記入すること

'99／年報

平成12年（2000年） 3月31日 印刷

平成12年（2000年） 3月31日 発行

編集発行 〒992-0302

山形県東置賜郡高島町安久津2117

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

TEL 0238(52)2585

FAX 0238(52)4665

印刷 寄清堂印刷



